中野工科 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科： 国語

科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 1 組

使用教科書：（ 高等学校 標準 現代の国語（第一学習社） ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 世界を広げる 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。（（2）ア） 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。（B（1）ウ） 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 教科書「なぜ本を読むのか」の読解 原稿用紙の使い方について 文章作成時の「根拠の示し方」の解説 文章作成時の「説明の仕方」の解説 「根拠の示し方」「説明の仕方」で学習した内容を踏まえた作文 ・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末		○		【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。（（2）ア） 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。（B（1）ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて積極的に自分の考えを表明したり深めたりしながら、言葉の働きについての認識を深めようとしているとともに、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1	
	B 書いて伝える 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。（（1）オ） 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。（B（1）ウ） 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 教科書「書き方の基礎レッスン」の内容理解 表現上の工夫（修辞）の活用 表記・表現の基本ルールを踏まえた文章作成 接続表現に留意した文章作成 ・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末		○		【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。（（1）オ） 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。（B（1）ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方についての認識を深めるとともに、読み手の存在を踏まえた論理の展開や情報の精査を行うことを通して、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	13
定期考査					○	○		1		

2 学 期	C 話して伝える(1) 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。(A(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 教科書「話し方の工夫」の内容理解 教科書「待遇表現」の内容理解 話し言葉と書き言葉をそれぞれ音読した時の印象の違いについての活動を踏まえた考察 相手と場面に応じた話し方の工夫についての活動を踏まえた考察 直接的な表現と婉曲的な表現についての活動を踏まえた考察 敬語表現を意識した言葉遣いの学習 相手や場に応じた言葉遣いの学習 ・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末 ・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出	○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(1)イ 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割について考えたり、自分の考えが的確に伝わるように自分の立場や考えを明確にしたりしようとする中で、言葉の働きについての認識を深めようとしているとともに、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1
	D 言葉が開く世界 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることができるとともに、自分の考えを深めることができる。(C(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 教科書「言語としてのピクトグラム」の読解 引用の仕方についての学習 教科書本文の要約 ・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末 ・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出	○		【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。(1)ア 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価しているとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉の働きについての認識を深めるとともに、情報を相互に関係付けることを通して内容や書き手の意図を解釈しようとする中で、文章の構成や論理の展開などについての認識を深めようとしている。	○	○	○	15
定期考査					○	○		1	
3 学 期	E 話して伝える(2) 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(A(1)エ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 教科書「論理的な表現」の内容理解 教科書「スピーチで自分を伝える」の内容理解 主張と理由の関係性や妥当性についての考察 スピーチの実践 1年間の学習の総括(学年末考査終了後) ・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末 ・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出	○		【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報との関係についての認識を深めるとともに、相手の話の内容について適切な評価を行い、その情報を踏まえて自分の考えを広げたり深めたりしようとするを通して、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	23
	定期考査					○	○		1
合計									
78									

中野工科 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語演習

教科： 国語 科目： 現代の国語演習

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 1 組

使用教科書：（ 高等学校 標準 現代の国語（第一学習社） ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数			
			話・聞	書	読									
1 学 期	<p>A 書いて伝える（準備編）</p> <p>【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（（1）ウ）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。（B（1）ウ）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 表記・表現の基本ルールの確認 「現代の国語」で扱う漢字の読み・書きの確認と演習 学習内容を活用した作文づくり</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出</p>				○	<p>【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。（（1）ウ）</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。（B（1）ウ）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 常用漢字の読み・書きに慣れ、それらを文や文章の中で使いこなそうとするとともに、自分の考えや事柄を的確に伝えるために表現を工夫している。</p>				○	○	○	13
2 学 期	<p>B 論理的に伝える</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。（（1）オ）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。（A（1）イ）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 教科書「論理的な表現」の内容理解 主張と理由の組み合わせについての学習 効果的な理由づけについての学習</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出</p>				○	<p>【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。（（1）オ）</p> <p>【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。（A（1）イ）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方についての認識を深めるとともに、自分の立場や考えを明確にしながら話の構成や展開を工夫している。</p>							14

3 学 期	<p>C 書いてよりよく伝える</p> <p>【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)エ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。(B(1)エ)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 接続表現の学習 表現の工夫の仕方についての学習 学習内容を活用した作文づくり</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の具体的な活用場面 調べ学習での活用 授業内課題の提出</p>				<p>【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(B(1)エ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 語句や語彙の構造や特色についての認識を深めるとともに、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直すことを通して、自らの学習を振り返りつつ調整している。</p>	○	○	○	12
	合計									
39										

中野工科 高等学校 令和7年度

教科 : 公民 科目 公共

教科 : 公民 科目 : 公共 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年 1 組 ~ 組

使用教科書 : (高等学校 公共 これからの社会について考える (教研出版))

- 教科 公民 の目標 :
- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理, 政治, 経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに, 諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について, 事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり, 解決に向けて公正に判断したりする力や, 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に, 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される, 人間としての在り方生き方についての自覚や, 国民主権を担う公民として, 自国を愛し, その平和と繁栄を図ることや, 各国が相互に主権を尊重し, 各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共	の目標 :
<p>【知識及び技能】</p> <p>現代の諸課題を捉え考察し, 選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに, 諸資料から, 倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>現実社会の諸課題の解決に向けて, 選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して, 事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や, 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p>
	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>よりよい社会の実現を視野に, 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される, 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や, 公共的な空間に生き国民主権を担う公民として, 自国を愛し, その平和と繁栄を図ることや, 各国が相互に主権を尊重し, 各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元 公共的空間をつくる</p> <p>【知識及び技能】 青年期が自立をはかる重要な時期であること、伝統文化とその継承が重要なことを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己形成の課題について考察でき、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。</p>	<p>・指導事項 公共的空間をつくる</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	6
	<p>単元 公共的空間における人間としてのあり方や生き方を追求する</p> <p>【知識及び技能】 西洋近現代の思想の要点を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 思想の要点を通して、自分の生き方を検証し、公共的空間をつくる者として考察を深め、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 選択や判断の手がかりとなる考え方を学び、自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。</p>	<p>・指導事項 人間としての生き方あり方</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 アジア各地域間の貿易やアジア諸国と欧米諸国の進出と、日本への影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査	・定期考査		○	○	○	1
	<p>単元 公共的空間における人間としてのあり方や生き方を追求する</p> <p>【知識及び技能】 西洋近現代の思想の要点を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 思想の要点を通して、自分の生き方を検証し、公共的空間をつくる者として考察を深め、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 選択や判断の手がかりとなる考え方を学び、自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	8
	<p>単元 公共的空間における基本原理</p> <p>【知識及び技能】 民主社会を支える基本的原理(個人の尊重、法の支配、自由・平等・権利と義務など)を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 これらの基本的原理を学ぶことによって、個人と社会の関わりについて多角的に考察し、それを自分の言葉で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 選択や判断の手がかりとなる考え方を学び、自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	6
定期考査	・定期考査		○	○	○	1	

2 学 期	<p>単元 政治参加と民主政治の課題</p> <p>【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。自分が理想とする選挙制度を選択することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	12
	<p>単元 国際政治の動向</p> <p>【知識及び技能】 国際法の意義、国際紛争を解決する国際連合などの機関の役割が理解できている。</p> <p>冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集団の安全保障がなぜ有効なのか考察できている。国連の現状と課題について考察できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。</p> <p>それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	10
	<p>定期考査</p>	<p>・定期考査</p>		○	○	○	1
	<p>単元 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割、核軍拡から核軍縮への流れ、現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 留学生や国際NGOの役割を学び、国際社会の諸問題について考察し、自分の意見を表現し、他者に説明できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	8
	<p>単元 経済のしくみと産業の変化</p> <p>【知識及び技能】 現代の企業の果たしている役割、中小企業や農業の果たしている役割と現状、産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の企業倫理について、経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたかについて考察できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 AIやITなどの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考慮することができている。経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>	<p>・定期考査</p>		○	○	○	1
3 学 期	<p>単元 市場経済のしくみと金融</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のメカニズムと、各種経済指標、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか理解し、自分の言葉で表現できている。GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。超低金利時代に生きる一員として、今後の経済設計がきちんとたてられている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	4
	<p>単元 財政、社会保障、国際経営の動向</p> <p>【知識及び技能】 政府の役割、社会保障、外国為替のしくみ、戦後の国際経済の流れについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 将来を予測し、税と社会保障のバランスを考察したり、グローバル化する経済の影響について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本経済の課題、国際経済の課題について、学ぶ意欲がもつことができている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する</p>	<p>【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている</p> <p>【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる</p>	○	○	○	5
	<p>学年末考査</p>	<p>・学年末考査</p>		○	○	○	1
合計							78

中野工科 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

使用教科書：（ 新高校の数学 I 【数研出版】 ）

教科 数学

の目標： 数と式、図形と軽量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標： 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式の計算（多項式の乗法） 【知識及び技能】 ・整式の加法・減法、乗法の意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・すでに学習した計算の方法と関連付けるさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整式の加法・減法に関心を持ち、目的に応じて式の変形させる。	・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。 ・教材等 教科書・プリント・タブレット	【知識・技能】 ・整式の加法・減法、乗法の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・既に学習した計算の方法と関連付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整式の加法・減法に関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	○	○	○	11
	定期考査	・定期考査		○	○		1
	数と式の計算（展開、因数分解） 【知識・技能】 ・因数分解の意味を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乗法公式や因数分解などに関心を持たせる。	・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。 ・教材等 教科書・プリント・タブレット	【知識・技能】 ・因数分解の意味を理解している。 ・乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をするができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乗法公式や因数分解などに関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	○	○	○	15
定期考査	・定期考査		○	○		1	

2 学 期	<p>数と式の計算（平方根）</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶対値の意味を理解させる。 根号を含む式の計算や有理化をさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数を拡張してきた過程やその意義、数の四則演算の可能性について考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分母に根号を含む式において、分母を有理化する方法に関心を持たせる。 	<p>・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。</p> <p>・教材等 教科書・プリント・タブレット</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応することを理解している。 絶対値の意味を理解している。 根号を含む式の計算や有理化ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数を拡張してきた過程やその意義、数の四則演算の可能性について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分母に根号を含む式において、分母を有理化する方法に関心をもつ。 	○	○	○	15
	定期考査	・定期考査		○	○		1
	<p>数と式の計算（1次不等式）</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次不等式とその解の意味を理解し、解を求めるさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質を基にして、1次不等式の解き方を考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の事象や社会の事象に関連した課題の解決に、不等式を活用させる。 	<p>・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。</p> <p>・教材等 教科書・プリント・タブレット</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質を利用して、不等式の解を求めることができる。 1次不等式とその解の意味を理解し、解を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質を基にして、1次不等式の解き方を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を不等式で表すことのよさをとらえようとする。 日常の事象や社会の事象に関連した課題の解決に、不等式を活用しようとする。 	○	○	○	17
定期考査	・定期考査		○	○		1	
3 学 期	<p>2次関数（2次関数のグラフ）</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数のグラフの意味を理解させる。 <p>【思考・判断・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数$y=ax^2+bx+c$のグラフは$y=ax^2$のグラフを平行移動したものであることを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とそのグラフについて関心を持たせる。 	<p>・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。</p> <p>・教材等 教科書・プリント・タブレット</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数のグラフの意味を理解している。 2次関数のグラフの軸と頂点の座標の方程式を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数$y=ax^2+bx+c$のグラフは$y=ax^2$のグラフを平行移動したものであることを理解し、その移動について考察することができる。 2次関数の式とグラフについて、グラフを用いて多面的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とそのグラフについて関心を持ち、調べようとする。 	○	○	○	15
	定期考査	・定期考査		○	○		1
							合計
							78

中野工科 高等学校 令和7年度 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

使用教科書： ()

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能を身に着けるとともに、社会生活における健康・安全について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組ませる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○体力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横跳び ・20mシャトルラン ・50m走 ・立ち幅跳び ・ハンドボール投げ 	<p>【知識・技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組もうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどや、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	8
	<p>球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○タグラグビー</p>	<p>【知識・技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	8
	<p>陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○走り高跳び</p>	<p>【知識・技能】 リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	8

2 学 期	<p>球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○テニスボール</p> <p>○卓球</p>	<p>【知識・技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組もうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
	<p>武道</p> <p>【知識及び技能】 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	○合気道	<p>【知識・技能】 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○バドミントン</p> <p>○ニュースポーツ</p> <p>・ゴールボール</p> <p>・ボッチャ</p> <p>・キンボール</p>	<p>【知識・技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組もうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	16
	<p>体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの発展は、人々に文化的、社会的、経済的な恩恵をもたらしていること、一方、スポーツへの社会の関心や期待が高まることで課題も生じることに理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとする態度を身につけさせる。</p>	<p>○スポーツの発祥と発展</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境 <p>○教材</p> <p>・教科書、プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>・課題の配信と提出。</p> <p>・資料映像の視聴。</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの発展は、人々に文化的、社会的、経済的な恩恵をもたらしていること、一方、スポーツへの社会の関心や期待が高まることで課題も生じることに理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
合計							78

中野工科 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

芸術 科目 美術 I

教科： 芸術

科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

使用教科書：（ 光村出版 美術 I

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術表現に関わる知識を習得し、絵画・彫刻デザインの技能と、それらの教材体験を通じて磨く。	絵画や彫刻・デザイン制作で創造性を養い、創作することで思考する、判断する能力を磨き、自己表現を高める。	創作は集中力を必要とし、自己発見・気づきが生まれ、学ぶ力を高めていく。人間性は情緒教育で高められていき、自己探求を深められる。

施行する力

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	・美術における学びの姿勢を理解する。 ・鉛筆デッサンで基本的な相貫体の描画や、質感の違う静物を描き、観察力や表現力を養う。	・オリエンテーション ・鉛筆デッサン ①相貫体をクロッキー ②静物画を鉛筆デッサン	○				知：行動観察 思：作品制作	○		○	6
	・モダンテクニックのドリッピング、スパッタリング、フロッタージュ、デジタルコマニー、マーブリグ、スタッピング、カラージュ等を手掛け理解する。	・モダンテクニックを学ぶ	○	○			知：行動観察 思：作品制作	○	○	○	8
	・水彩絵の具でモダンテクニックを活用しながら、シュールレアリスム絵画を制作。 ・下絵づくりで4つのアイテム（夢・現実・非現実・好みの事）を組み合わせ、絵を構成する。	・モダンテクニックを活かしたシュールレアリスム絵画の作成。	○				知：行動観察 思：作品制作	○	○	○	6
	・自己のテーマを決めてシュールレアリスム絵画を制作し発表。他社の作品について鑑賞。話し合う中で観察力を深める。	・シュールレアリスム絵画の鑑賞				○	知：行動観察 態：鑑賞プリント提出	○	○	○	8
2 学 期	・テーマに沿った平面構成を雲形定規やテンプレート、コンパス、定規を用いて制作する。 ・テーマは感情（嬉しい・悲しいなど）でも物や景色などでも良く、自己探求につながっていく。	・平面構成を学ぶ （色彩学習も含める）		○			知：行動観察 思：作品制作	○	○	○	14
	・針金プレートは柔らかく曲がり造形作品を作る素材として用い針金も加え自由テーマで立体表現を行う。	・金網アートの制作	○				知：行動観察 思：作品制作	○	○	○	16
3 学 期	・銅版画のドライポイントを中心に制作し、版画作品の技法を理解し、版を作ることのできる作品の制作を学ぶ。	・銅版画制作 （ドライポイント・エッチング）	○				知：行動観察 思：作品制作	○	○	○	12
	・日本や西洋の美術史を絵画や彫刻、デザインを中心に学ぶ。	・日本美術史を学ぶ ・西洋美術史を学ぶ	○	○	○	○	知：行動観察 態：日本美術史・西洋美術史のプリント提出	○		○	8
											合計
											78

中野工科 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

外国語

科目 English Communication 1

教科： 外国語

科目： English Communication 1

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組

使用教科書： (All Abroad English Communication 1 東京書籍)

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。

科目 English Communication 1

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
[知識]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解している。 [技能]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や し	話 （ 発 し	書						
A 単元 【知識及び技能】 使う場面などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 教室で使う表現について、適切に使っている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えようとしている。	・指導事項 Warm-up1 アルファベット Warm-up2 教室で使う表現 Warm-3 辞書の使い方Warm-up1.2.3 ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	6	
B 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすいように伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えようとしている。	・指導事項 Pre-lesson1 My name is Ito Neko. Pre-lesson2 I like Junk food. ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8	
定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について理解しているかを筆記テストする。	○	○		1	
1 学 期	C 単元 【知識及び技能】 過去形の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすいように伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや好みを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
D 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや好みを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	6	
定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について理解しているかを筆記テストする。	○	○		1	

2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson2 Australia' s Cute Quokkas ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	F 単元 【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson2 Australia' s Cute Quokkas ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について理解しているかを筆記テストする。	○	○		1
2 学 期	G 単元 【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えを話したり書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson3 A Train Driver in Sanriku ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	H 単元 【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えを話したり書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson3 A Train Driver in Sanriku ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について理解しているかを筆記テストする。	○	○		1
3 学 期	I 単元 【知識及び技能】 to不定詞を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 気持ちを話したり書いたりして伝え合 う。 【学びに向かう力、人間性等】 気持ちを伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson4 A Miracle Mirror ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	J 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えをまとめる 【学びに向かう力、人間性等】 気持ちを伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson4 A Miracle Mirror ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	5
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について理解しているかを筆記テストする。	○	○		1
											合計	78

中野工科 高等学校 令和7年度 教科

工業 科目 工業情報数理

教科： 工業 科目： 工業情報数理

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

使用教科書： (工業情報数理 (オーム社))

教科 工業 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ、職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 工業について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 工業情報数理 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 情報モラル 【知識及び技能】 個人情報の取扱い方や著作権などの知的財産の制度を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関するルールやモラルについて違反しているかどうかを判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う際の留意点などについて主体的に考えられる。	・指導事項 個人のプライバシー 著作権、知的財産権 ・教材 (教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 著作権や知的財産権について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 情報に関するルールやモラルについて思考・判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を取り扱う際の留意点について主体的に考えようとしている。	◎	○		8
B 情報のセキュリティ管理 【知識及び技能】 情報のセキュリティを高める方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの不正使用がどのように起こり、その対策はどうすればいいかを思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの障害が起こらないように対策を考えようとしている。	・指導事項 データの暗号化技術 電子認証技術 ウイルス対策ソフト ・教材 (教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 コンピュータの不正使用の対策方法について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータの不正使用の対応策についていくつかの選択肢について思考・判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの障害が社会に対する影響が大きいことについて主体的に考えようとしている。	◎	○		8
1 学期 定期考査	・定期考査		○	○		1
C ハードウェアとソフトウェア 【知識及び技能】 コンピュータの構造やOSとソフトウェアの役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータシステムの課題を見出し、解決策を思考・判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータシステムの活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 コンピュータの構造と周辺機器 インタフェース OSとソフトウェアの違い ・教材 (教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 コンピュータの構造やOSとソフトウェアの役割を理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータシステムの課題を見出し、解決策をいくつか挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータシステムの活用について協働的に取り組んでいる。	◎		○	8
D 情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 通信ケーブル、通信機器、プロトコルについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】 通信状態の不安定性についてその原因を思考・判断・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 データ通信を行う上でのネットワークの活用について主体的に取り組んでいる。	・指導事項 通信ケーブルの種類 TCP/IPとプロトコル IPアドレス (Ipv4) ・教材 (教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 通信プロトコルについてその役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ネットワークの安定性を阻害する原因をいくつか挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 通信ネットワークの活用について協働的に取り組んでいる。	○	◎		6
定期考査	・定期考査		○	○		1

2 学 期	E アルゴリズム 【知識及び技能】 アルゴリズムを表現するための順次、分岐、繰り返し処理について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 3つの処理をどのように使い分けたり組み合わせるかを思考・判断・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムを主体的に取り組んでいる。	・指導事項 流れ図 順次処理 分岐処理 繰り返し処理 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 ある課題に対してアルゴリズムを描くことができる。 【思考・判断・表現】 ある課題に対していくつかのアルゴリズムを思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズムの活用について協働的に取り組んでいる。	○	◎	○	6
	F コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、効果的な情報デザイン表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインの考え方や方法を活用してWEBページを作成しようとしている。	・指導事項 メディアの特性 ビクトグラム 静止画、動画、圧縮、展開 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 ビクトグラムの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ある課題に対していくつかの効果的な情報デザインやコミュニケーションの手段を思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ある目的のWEBページの作成を情報デザインの考え方をういて協働的に取り組んでいる。	○	◎	○	8
	定期考査	・定期考査		○	○		1
	G 数値処理 【知識及び技能】 面積、体積、質量の積算及び単位変換について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用して様々な数値処理を思考し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを利用して主体的に数値処理を行おうとしている。	・指導事項 国際単位系 面積、体積、質量の積算 単位換算 実験やシミュレーションの数値処理 ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 面積、体積、質量の積算及び単位換算について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータを利用して数値処理方法を思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを利用して数値処理について協働的に取り組んでいる。	○	◎		10
	H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際に制御するプログラミングができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思考錯誤してプログラミングしそれを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体的かつ協働的に取り組んでいる。	◎	○	○	8
定期考査	・定期考査		○	○		1	
3 学 期	H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際に制御するプログラミングができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思考錯誤してプログラミングしそれを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	◎	○	6
	H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際に制御するプログラミングができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思考錯誤してプログラミングしそれを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材（教科書、プリント） ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	◎	5
	定期考査	定期考査		○	○		1
							合計
							78

中野工科 高等学校 令和7年度 教科 工業 科目 工業技術基礎(食品工業類型)

教科： 工業 科目： 工業技術基礎(食品工業類型) 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 工業について基本的・基礎的な知識理解するとともに、必要な技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観と合理的・創造的に課題を解決する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 工業技術をとおして、より良い社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協調性をもつ取り組み態度を身につけさせる。

科目 工業技術基礎(食品工業類型) の目標： 実践的・体験的な学習活動を行うことにより、工業の各分野における課題解決能力、工業技術の発展に対応する能力、職業人としての倫理観を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について基本的・基礎的な知識を理解するとともに、必要な技術を習得する。	工業技術に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観と合理的・創造的に課題を解決する力を身につける。	工業技術をとおして、より良い社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協調性をもつ取り組み態度を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準				配当 時数
			知	思	態		
1 学 期	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材 (自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	9
	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材 (自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	定期考査	・定期考査					
	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材 (自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	15
	A 食品工業類型① 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材 (自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	9

2 学 期	A 食品工業類型① 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	A 食品工業類型② 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	A 食品工業類型② 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	15
	A 食品工業類型② 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	9
	A 食品工業類型② 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
3 学 期	A 食品工業類型② 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	A 食品工業類型② 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材（自校作成テキスト・プリント） ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
							合計
							117

年間授業計画 新様式例

中野工科 高等学校 令和7年度 教科 工業(総合技術科) 科目 工業技術基礎(機械類型)

教科: 工業(総合技術科) 科目: 工業技術基礎(機械類型) 単位数 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組~ 組

使用教科書: (工業技術基礎 実教出版)

教科 工業(総合技術科) の目標: 安全第一な実習について基礎的な知識や技術を理解する
 【知識及び技能】 作品の完成状況(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫)
 【思考力、判断力、表現力等】 授業への取り組み(意欲、集中度、忘れ物、服装等)・レポートの完成状況(内容・提出状況)
 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況(出欠・遅刻の状況)

科目 工業技術基礎(機械類型) の目標: 実習中の事故や怪我のないよう安全作業・安全第一について理解する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ものづくり技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ものづくり技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として基本的な技術に基づき工業技術の進展に対応していく力を養う	ものづくり技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	オリエンテーション 工業技術基礎の授業について 安全第一の実習について理解する 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	45	
2 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント 類型別 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤・フライス盤) (手仕上げ・鋳造) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	45	
3 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	類型別 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤・フライス盤) (手仕上げ・鋳造) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	27	
							合計	117